事例No.	2112
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	静岡県三島市

事例区分	DX

タグ	・消防・防災 ・ICT ・（行政改革）業務の効率化

事例種類	土木・インフラ

事例内容・タイトル

水位センサー、監視カメラの導入による災害対応迅速化の取組

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

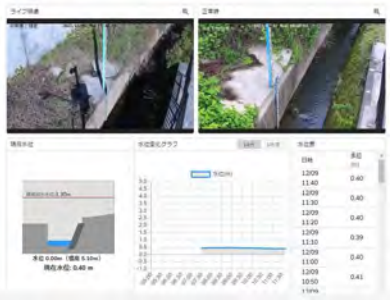
132 水位センサー、監視カメラの導入による災害対応迅速化の取組【静岡県三島市】

事業の概要

○　三島市では、大雨や洪水などが発生した際に、国の監視システムの情報等の確認や現場の見廻りを行った上で、一級河川に繋がる水門の開閉を判断していたが、情報収集などに要する時間を短縮し、迅速な判断ができるようにするため、水門の内水側に水位センサー及び監視カメラを設置している。

○　水位センサーと監視カメラの情報は、パソコンやスマートフォンでの閲覧が可能であることから、浸水被害の可能性がある地域住民も出水状況をリアルタイムで確認することができる。





【参考情報】 人口：10.8万人
関連URL：　ー

もっと知りたい！　担当者にインタビュー


（総務省）

取組の経緯・きっかけを教えてください。


（三島市）

頻発する突発的な大雨や洪水等の出水状況を随時把握するという課題に対し、水位センサー及び監視カメラを設置する構想に行きつきました。



事業の近況を教えてください。



令和3年度は、水位センサー3基及び監視カメラ2基を設置しました。これによって、累計で水位センサーは5基、監視カメラは3基の設置となり、内水氾濫が起きやすい地区の出水状況を安全に、かつリアルタイムで把握することができるようになりました。



住民の反応はいかがですか？



「川に近づかずとも正確に水位がわかる水位計が設置され、安心が増しました。」といった声が寄せられました。

★担当：三島市都市基盤部 土木課★

令和3年度事業費　3,355千円